

友好都市締結から、早いもので10年となりました。杉戸町の皆さまには、東日本大震災以降、当町の復興復興に物心両面で多大なるお力添えをいただき、あらためて感謝申し上げます。6年間にわたる全町避難を経て、平成29年4月の一部地域を除く避難指示解除から3年半が経過し、現在約1500人の方々が町内で生活されています。帰還した方と新たに転入された方の割合は、おおよそ半々の状況にあります。

ゼロからの町づくりは険しい道である一方、大胆に、そして新しいことへチャレンジできる環境にもあると思

います。生活環境の向上と魅力ある街づくりに努め、多くの町民の方々に帰町いただき、また、ゼロからスタートする町と共に、新しい生活を始められる方も積極的に受け入れ、全力でサポートしたいと考えています。

杉戸町は、杉戸宿としての歴史あふれる街、そして、都心への交通アクセスも優れている土地柄でありながら、緑あふれ、農産品、地場産品の生産が盛んな印象です。毎年、季節折々のイベントにご招待いただいておりますが、町民の皆さまの、地域への思い入れ、町政への積極的な参画、協働の精神が強く感じられます。

この友好都市締結10周年を契機に、両町の交流がさらに深く、そして広範囲にわたる活動へとつなげていきたいと思っています。



富岡町長 宮本 皓一

杉戸町の皆さまへ

この度は、富岡町と杉戸町が友好都市締結10周年を迎えることができ、とてもうれしく思います。富岡町の皆さまにおかれましては、東日本大震災の発生以降、長期にわたる避難生活を強いられ、ご苦労の絶えない日々をお過ごしのことと存じます。その様な中でも、復旧復興に向けて力強く前進する姿に感銘を受け、当町としても引き続き、最大限の支援をさせていただきますと考えています。



杉戸町長 古谷 松雄

富岡町の皆さまへ

杉戸町は、全ての町民の皆さまの幸せを目指し、「住み心地100%のまちづくり」の実現に向け、「地域創生」

「子育て」「健康」「安心・安全」「環境」の5つの重点施策を中心に、少子高齢化・人口減少等、大きな課題に正面から向き合い、スピード感を持って取り組んでいます。

富岡町には、本町にはない海や山があり、自然が豊かでとても魅力的な町です。平成29年4月に帰還困難区域を除く地域の避難指示が解除され、本町の意味での復興がスタートし、町内に足を運ぶ機会も多くなりましたが、その都度変わっていく街の姿に驚くばかりです。

10周年を迎えた今、両町の関係は町同士の友好都市提携から、人と人との繋がりと変化をしていると感じています。ともに復興、そして発展への道を歩みながら、より一層両町の交流を深める10年にしていきたいと思っています。

10周年を迎えた今、両町の関係は町同士の友好都市提携から、人と人との繋がりと変化をしていると感じています。ともに復興、そして発展への道を歩みながら、より一層両町の交流を深める10年にしていきたいと思っています。

夜の森さくらプロジェクト

杉戸町では、役場庁舎の中庭で富岡町から譲り受けた桜の苗木を育てています。両町の友好都市10周年を記念して、杉戸町内の公共施設等に植樹を行います。



友好都市



締結10周年

平成8年頃から、少年少女のソフトテニスをきっかけに両町の交流が始まりました。その後、行政職員や議会議員、区長などの相互交流へと発展し、平成14年には学校交流事業として両町の小学生が交互に訪問するようになりました。

さまざまな分野での交流を深めながら、平成22年11月3日に友好都市協定を締結。そして発生した「3.11 東日本大震災」。共に苦難を乗り越えた両町の友好は、はるかな未来へと続きます。



友好都市調印式【中央写真:左から富岡町・猪狩利衛議長（当時）、故・遠藤勝也町長（当時）、杉戸町・古谷松雄町長、岡田秀夫議長（当時）】

写真で振り返る友好都市“絆”の10年

震災の記憶



2011.3.17 杉戸・幸手・宮代に避難者を受入れ



2011.4.13 幸手市避難所を慰問



2011.3.31 富岡町民を激励する古谷町長



2011.5.22 避難者支援チャリティーバザー



2011.4.11 杉戸町役場での合同災害対策本部会議



2011.5.22 被災者に贈る応援メッセージ

心の交流



2013.11.3 杉戸町産業祭でのよさこい演舞



2018.9.12 富岡校と杉戸農高が交流農業教室



2018.4.14 富岡桜まつりに杉戸町PRブースを出店



2018.11.3 杉戸町産業祭に富岡町ブースを出店



2018.8.1 古利根川流灯まつりで設営協力



毎年行われている野球を通じた職員交流